

息子の自死事案における再発防止策の策定発表への遺族の思い

息子の自死事案における調査報告書が公表された後、4年間に渡り息子の自死事案における実効性の高い再発防止策の早期策定を目標に辛抱強く県教委に働きかけてきましたが、ただ無駄に時間が経過しただけで、すべての問題点には対応されていない不完全な状態での実施となり、13年に渡る私たちの苦労が十分に報われず、誠に無念としか言いようがありません。

息子の自死原因が野球部監督のパワハラであると認定した調査報告書公表後にもかかわらず、息子を自死に追いやった組織の責任をあくまで認めようとしない県教委の姿勢に変化がなかったため、再発防止策の策定を第三者に委ねることを提案しましたが拒否されました。県教委内に専門部署を設ける提案しましたが、生かされることもなく、県教委の既存部署の職員が策定にあたることになりました。その後も県教委に責任感やスピード感は感じられず、信頼関係も築けないままであり、外部有識者の推薦依頼先を遺族に無断で変更されたり、現教育長との面談も拒否されるなど、『遺族の心情に寄り添った対応』をしていただけることはなく、一度決めた方針を柔軟に見直そうとする姿勢を欠いた第三者調査委員会設置前と同じ姿勢の県教委に働きかけを続けざるを得ない苦難の日々を強いられることとなりました。この期間の心労と苦痛の日々が昨年癌で亡くなった妻の病巣の発生と成長に影響があったことは明白であり、自死事案関連死であると考えています。

県教委からは「再発防止策はこの度決定すれば終わりではなく、今後も効果検証を行うとともに、遺族や外部有識者からご意見等をいただきながら、見直し・改善を図っていくことが必要と考えております」との意向を報告いただいておりますが、『組織の保身』を最重視する県教委の姿勢の改善をいまだに感じられることがないため、未対応な再発防止策に関しては自発的に立案・議論されることはなく、闇に葬り去られるのは間違いないと考えています。当初の再発防止策(案)の教育長の言葉は「今後このような事案が起こらない」でありましたが、遺族の意見がなかったら「今後このような事案を起こさない」と改めるとは到底考えられず、県教委の本質は何ら変わっていないと確信しています。また、教育動画は現在制作中ではありますが、県教委の動きが極めて鈍い中、制作期間も短いため粗悪な教育動画となることを懸念しています。

今後とも可能な限り、息子の死を無駄にしないため県教委に働きかけを行っていく所存ではありますが、遺族単独による働きかけの限界を感じています。今後は県民の皆様に息子の事件や再発防止策に興味を持っていただくことを通じて、県教委に対する問題意識を持っていただきたいと思います。

2025. 1. 15 最愛の息子と妻の為に